

会 議 議 事 録

会 議 名 称	令和 8 年度第 1 回上里町総合教育会議
開 催 日 時	令和 8 年 6 月 1 8 日（木） 午前 1 0 時 3 0 分～午前 1 1 時 3 0 分
開 催 場 所	上里町役場 3 階 教育委員会・行政委員会室
出席者	構成員：山下町長、齊藤教育長、 高階教育委員、池田教育委員、岡村教育委員、梅林教育委員 関係課：教育総務課長、教育指導課長、生涯学習課長、総合政策課長 事務局：総合政策課
欠席者	なし
傍聴者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 あいさつ 3 報告事項 （1）上里町立学校の教育職員に関する 業務量管理・健康確保措置実施計画について （2）その他 4 閉会
配 布 資 料	○会議次第 ○（報告事項）上里町立学校の教育職員に関する 業務量管理・健康確保措置実施計画について ○（その他資料）上里町における児童生徒の状況 ○上里町教育大綱 【令和 4 年 4 月】 ○上里町総合教育会議設置及び運営に関する要綱

発言者	発言内容
町 長 教 育 長 教育指導課長 岡村教育委員 教育総務課長 事 務 局 教育総務課長	1 開会 2 あいさつ 3 報告事項 (1) 上里町立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について 説明者：教育指導課長 資 料：(報告資料) 上里町立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画 ストレスチェックはどのような方法でやっているのか。 ストレスチェックについては、健康診断の時に合わせてストレスチェックシートを2月頃に各学校に渡しており、その結果が計画の3ページに記載している内容となっている。年代別や男女別のデータもまとめたものがあるが、計画上にはそこから「(3) ワーク・ライフ・バランスや働きがい等に関する目標」に関係するもののみを抜粋し、列举させてもらっている。なお、実際の実施団体については、町の教育委員会が健康づくり事業団に委託をしている。 (2) その他 ①上里町における児童生徒の状況について 発議者：事務局（総合政策課） 全国的な少子化に伴い児童生徒数が減少している中、上里町における今後の教育環境のあり方を検討するにあたり、教育委員の皆様にも上里町の現状について認識を共有させていただいた上で、ご意見を頂戴したい。それでは、まず、「(その他資料) 上里町における児童生徒の状況」の資料に基づき、教育総務課より現状の報告をさせていただく。 説明者：教育総務課長 資 料：(その他資料) 上里町における児童生徒の状況

岡村教育委員	三点質問させていただく。 ①児童数の減少は全国的に進んでいるものである。3年前に全国小学校長会があった際、特に佐渡島などでは十数校あったものが北と南の2校になっていて、長野県の学校等でもそういう厳しい状況と聞いている。そのような場で、様々な地域の校長と話をして特に驚いたのは、少子化が進んでいる中、特別支援を要する子供たちが非常に増えているとのことであった。特に、長野県の18人しかいない学校では、6人が特別支援となっており、1人の子が授業中に飛び出すことで業務が止まってしまうこともあるという。そのような中、上里町での現状と対策をどのようにしているのか聞きたい。 ②上里東小学校は比較的外国籍の子が多いと聞くが、その推移を伺いたい。 ③近隣の市町村と情報共有しているのか。
教育指導課長	①上里町教育委員会では、指導主事が特別支援を担当しており、幼少の頃から、発達課題については理解するよう動いている。町では保健センターと連携をしながら各幼稚園に訪問をしたり、就学前に相談に乗ったり等している。小学校に入学してからは、課題が見えたらWISC検査を臨床心理士に依頼し、その結果をフィードバックしてもらっている。その他、本庄特別支援学校のコーディネーターにアドバイスをもらいながら、各学校を巡回し、特別支援教育の質の向上を意識しながら動いている状況。 各学校でも特別支援学級についてはかなり充実しており、豊富な知見を持っている先生が指導をしている。昨日も上里北中学校を訪問したが、特別支援学校での経験がある方が特別支援学級を担当しており、そういったノウハウを各学校に広めていきたいと考えている。 ②外国籍については、教育委員のおっしゃるとおり上里東小学校が最も多いと把握しており、全校生徒の約1割が外国籍であると聞いている。多くは上里中学校に進学することから、上里東小学校と上里中学校には通訳を配置しており、外国籍の方への日本語指導を充実できるよう体制を整えている。
教育総務課長	③近隣自治体との情報共有については、給食センターの関係もあり、本庄市には都度状況を確認している。ただ、本庄市には複式学級の学校があり、上里町には現時点ではないことから、本庄市が今進めている統廃合のやり方と、上里町がこれから児童数の減少に対して実施していく対応とは少し違うものと考えている。しかしながら、では何もしなくて良いのかというと、そういったわけではなく、令和8年3月議会でもご質問いただいたが、町議員の方からは「そろそろ統廃合について考える必要があるのでは」という檄をいただいている。その際にこちらから説明をさせてもらっ

	ているものとしては、「まずは上里町の子どもたちの現状把握をする必要があり、どういう形で進めていくかについては、今後検討させていただきたい」と伝えている。 話が少し逸れたが、神川町については小学校、中学校、それぞれ1校ずつに集約することを考えており、こちらも上里町とは進め方が違うものと感じている。 また、大きな相違点として、本庄市、神川町、美里町に共通しているものとして、地形が縦長の形状をしていることだと感じている。上里町はどちらかといえば四角い形状をしており、他市町とは状況が異なる。神川町では北部の人口が多いことから、南から北にスクールバスを出すという、分かりやすい対応が可能かと思うが、上里町ではその点が少し複雑になると考えており、この件については、今後教育委員の皆さんの意見や地元の話聞きながら、もちろん統廃合前提ではないが、進めていくものだと認識している。
岡村教育委員	1点目の WISC について伺いたいですが、本庄市では市の予算で小学校4年生以上の子に WISC 検査を行っているが、上里町ではどのようにやっているのか。
教育指導課長	上里町でも町予算でやっている。WISC には年齢制限があり、推奨年齢が8歳以上となっているが、4年生程度でも WISC で測れない子については、臨床心理士が最新の方法で対応してくれている。
岡村教育委員	Hyper-QU も町の予算でやっているのか。また対象は何年生か。
教育指導課	町予算で対応しており、全校を対象としているが、詳細は現時点では把握できていない。
岡村教育委員	分かり次第報告をお願いしたい。
議長（町長）	その他、ご意見等あるか。
高階教育委員	県東部・南部・西部ではかなり小中一貫の統廃合が進んでいる様子が新聞等にも出ているが、現状、県北地域は市町村に任されており、独自の考え方を持っている。私の出身の越谷近辺の東部地域は、小中一貫で早急に進めている。それはなぜかと言えば、学力の向上を目的としている。上里町ではここ何年でかなり学力が落ちている。それは1学級のような競争がなく、人間教

	育的にも進まないという状況に要因があると考えている。県は恐らく市町村・教育長に任せるとなっているかと思うが、現実的には東部地域は東部地域の校長会、教育長会等といった形の中で、小中一貫を推し進めている。また、埼玉県自体も、段階的に統廃合が進められており、県北地域はかなり遅れているように見えるが、教育長会議ではどのような進め方を県北ではしているのか。また、市町における首長の話し合いではどのような話し合いをしているのか、そこら辺の状況をお聞きしたい。
齊藤教育長	教育長会議ではそれぞれの市町の状況報告等聞いているが、具体的な話はない。そもそもそれぞれの置かれている状況が異なっており、例えば神川町においては将来的に小中一貫にしていきたいと考えており、その前にまずは小学校を段階的に1校とし、その位置を神川中学校の側にしたいと考えているとのことだが、そのとおり実現するのは分からない。また、美里町にしても、最終的には小中一貫を目指す中で、まずは小学校を1校にと考えていると聞いているが、まだ具体的なものはないとのこと。なお、昨今建築費の高騰により、計画通り進めていくのが難しいとも聞いている。 また、本庄市については児玉町の小学校を1校とし、児玉高校の跡地に設置できればと考えているそう。また、旧の本庄市の中では藤田・仁手が複式学級になるため、東小の方にスクールバス等を利用してもっていきたいと考えているとのこと。しかしながら、それぞれ一緒になるためには地域の方の考え方も賛否両論あるため、子どもたちのことを最優先に考え、どんな方法で新しい学校にしていこうかというところはまだ見えていない様子である。 そのような中、上里町として、今後どのような形が良いのかということについては、地域の方がどう考えているのかということを理解していくことが、まず優先されるのではないかと考えている。
議長（町長）	首長の会議でも、教育長のおっしゃっていたような話があり、美里町が小中一貫を目指して取り組んでいきたいと聞いている。神川町も現町長になってから新しい取組をしていきたいと聞いているが、本庄市を含めて、首長会議の中では具体的な話は聞いていない。 また、本庄市は美里町との境あたりにプールを備えた複合施設を計画しているが、上里町では現在民間施設が子供たちのプール授業に協力的であるため、現時点では利用の必要性は低いと考えている。 その他の統廃合等について、具体的な話はない。
議長（町長）	他の委員からも順次意見をもらいたい、池田委員はいかがか。

池田教育委員	子供の入学式に行くと、児童数が減っていることを実感する。少ないことで先生の目が各児童に行き届くことは良いこともあると思うが、子供が人数の多い中で色々な考え方に触れて学んでいくためには、統廃合等が必要になってくるのではないかとも思う。一方で、地域の方がどのように考えるかというところもあり、特に小学校は地域で朝も帰りも子供たちを見守ってくれている。私の父もそうだが、それが日課になっており、子供たちだけのためではなく、日々の生活に取り込まれている状況である。そのような側面についても、何気ないようで大切なことではないかと感じており、そういったことも含めて、今後を考えていかなければならないのかと思うと、簡単な話ではないと思っている。
議長（町長）	梅林委員のご意見はいかがか。
梅林教育委員	小学校は元々、各村に1つの学校という単位でつくっていたところもあり、自分の地域の学校が関係してくることは、地域の方にとっては気になることであると思う。ちなみに、今後の見通しは児童数が減少していくという話だが、もう少し将来的な推計値等のデータはあるのか。
教育総務課長	総合振興計画の見直しに際し、人口ビジョンを取得しているが、そういった中で社人研（国立社会保障・人口問題研究所）が人口推移を出していくという形になっている。今後、そのデータが明らかになれば、概ね子供の数も分かってくると思うが、残念ながら地域別で算出するのは難しいかもしれない。ただ、減少傾向であれば、先ほど説明をさせていただいた各小学校の人数の下落状況はあまり大きく変わらないことから、今の人数に比率を掛ければ、おおよそその試算は可能である。なお、個人的に試算してみたところでは、かなり減少していくものと考えている。こちらは国側も当然、少子高齢化は仕方ないものとしているところであり、そもそも国が発信している地方創生・総合戦略、これが最初に作られた時の指標の考え方というのは、「人口を増加させましょう」という指標であった。ところが、次の計画になった時に指標の考え方が大きく変わり、「交流人口をベースにして作っていきましょう」、いわゆる『定住していない人』、『外から来る人』の人数を増やしていきましょと、いつの間にかすり替わってしまった。そのことからすると、裏返せば国も人口減少はやむを得ないものと認めたのにほぼ等しいと、私は感じたところである。それと併せて、先ほど申し上げた人口ビジョンの状況は推移として見ていくと間違いなく着実に減っていくといったところは、どうしても否めない。梅林委員のご質問に対する回答としては、

	最終的にはどんどん児童数が減少していく中で、では学校の在り方をどのようにしていくのかという点について、教育委員の皆様にもお話をいただきながら、地域の方々が子供たちの幸せのために何ができるのかをお考えいただく必要はあるのかと思っている。
高階教育委員	皆さんの話を聞いていて、学級数が減るということに関しては、やはり先ほども学力の向上につながっていかないと申し上げたが、今運動会などのイベントでも、競う相手がいないという状況では、社会的な人間性も育たないと思われる。だからこそ、他の市町は統廃合を始めている。現実にも私もこの教育委員会に４年前に就任したが、あまりにも上里町の学力は低い。楽しくやれば良いという考え方では子供たちは育たないし、子供たちのためにならないという部分をしっかり考えて進めていただきたいと思う。
岡村教育委員	本庄市も統廃合についてはかなり前から、地域の方々の代表ということで学校運営協議会、小中学校長会、教育委員会含めて何度も何度も話し合いをした。特に地域の方々の思いはかなり強いものがあり、各学校でも学校運営協議会に市の教育委員会の方が来て説明をしていた。そこで本当に思うのは、仁手や藤田のように、残念ながら廃校となる学校については、その跡地を、お年寄りと子供たちのコミュニティの場として等、未来のまちづくりということで、地域の方々の長年の思いを是非尊重して進めていただきたいと思う。
議長（町長）	様々なご意見をいただき、非常にありがたい。只今、委員の皆様からいただいた意見を踏まえた上で、上里町における教育環境のあり方について、教育委員会で今後の方針のとりまとめを依頼する。
教育総務課長	（ 同 意 ）
議長（町長）	その他、なにかあるか。
事務局	（２）その他 ②上里町教育大綱の策定に係るについて 説明者：総合政策課 今年度を以て、町の第５次上里町総合振興計画の期間が満了となり、来年度より新たな第６次上里町総合振興計画が始動する。総合教育会議で策定している上里町教育大綱についても、総合振興計画に基づいた内容となっていることから、新たに策定の必要性があり、年度末の来年２月・３月頃に

議長（町長）	第2回総合教育会議を開催の上、そちらで内容を示させていただく予定となっている。 上里町は子育て支援日本一を目指そうと発信している。皆さんのお力を借りて、子育て日本一を目指していきたいと思っているため、協力をお願いしたい。 4 閉会
--------	--

署名欄

町 長	山下 博一
教育委員会 教 育 長	齊藤 雅男